府中市　地域子育て支援センター「はぐ」　令和６年７月１日発行

「はぐ」ひがし　7月号

　もうすぐ梅雨が明け、夏本番になりますね。保育所の園庭ではバケツに水をくんで砂遊びや水遊びを楽しむ姿が見られています。また、７月は七夕もあり、保育所玄関の大きな笹に「サッカー選手になりたい。」「逆上がりができますように。」などたくさんの夢が短冊に書かれています。「はぐ」ひがしでも短冊を用意していますので、遊びにいらしたときにお子さんと一緒に願い事を書いて飾ってくださいね。皆の願いが叶いますように・・・。

水遊びグッズの紹介「ペットボトルシャワー」

ペットボトルに穴を開けて、シャワーのおもちゃを作りませんか？　絵をかいたり、テープを貼ったり、親子で装飾するのも楽しい時間です。ただ水をジャージャーするだけのアイテムですが、赤ちゃんも楽しめます。ペットボトルの蓋に穴をあければ、逆さにしても楽しめます。
暑～い夏・・・親子で楽しんでください。

「はぐ」ひがし問合せ
府中市若松町３－２１－４　℡：０４２-３６２-５２００
開設時間：月～金（土日祝日を除く）午前９時３０分～午後４時
アクセス：京王線　府中駅よりちゅうバス（多磨町ルート）
「若松防災センター」下車徒歩５分

子育て相談を受付ています。
月曜日～金曜日　９：３０～１６：００
子育てで心配なこと、離乳食、健康面のことなど何でも気軽に相談してください。

７月のクイズ

　７月に関するクイズです。わかりますか？

第１問　すいかは果物でしょうか？野菜でしょうか？

第２問　冬瓜は夏野菜なのになぜ冬とかくのでしょうか？
①冬でも収穫できるから。
②冬までもつから。
③皮の表面が白くなり雪のようだから。

第３問　蚊取り線香の容器はなぜ豚なのでしょう？
①蚊は豚を刺さないから。
②最初に作成した蚊取り線香が豚でそれがヒットしたから。
③ある養豚場で豚にむらがる蚊に困ったから。

第４問　地球上で最も人間の命を奪っている殺虫生物は何？
①サメ　②蜂　③蚊

第５問　瓶ラムネに入っている玉の名まえ、わかる？
①ビー玉　②エー玉
③光玉

第６問　夏に花火をあげるのはなぜ？
①観光客を集めるため
②農作物の収穫を祝うため
③死者の霊の供養のため

クイズの答えは裏面を見てね

【７月の予定】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	ポップコーン 押立文化ｾﾝﾀｰ 10：00～11：15	**園庭開放** 11：00～12：00 	**ポップコーン** 是政文化ｾﾝﾀｰ 10：00～11：15 **すきっぷ** 紅葉丘文化ｾﾝﾀｰ 10：00～11：15		**園庭開放** 11：00～12：00 	
7	8	9	10	11	12	13
	ポップコーン 押立文化ｾﾝﾀｰ 10：00～11：15	**園庭開放** 11：00～12：00	**ポップコーン** 是政文化ｾﾝﾀｰ 10：00～11：15	**はぐっとセミナー** **手作り玩具作り** 「ｶｼｬｶｼｬﾏｲｸ」 10：00～	**園庭開放** 11：00～12：00 **ポップコーン** 白糸台文化ｾﾝﾀｰ 10：00～11：15	
14	15	16	17	18	19	20
	海の日	**園庭開放** 11：00～12：00 	**ポップコーン** 是政文化ｾﾝﾀｰ 10：00～11：15	**子育て講座** 「ｳｫｰﾀｰﾗﾝﾄﾞ」 10：00～ 14：00～ 	**園庭開放** 11：00～12：00 **ポップコーン** 白糸台文化ｾﾝﾀｰ 10：00～11：15 **子育て講座** 「ｳｫｰﾀｰﾗﾝﾄﾞ」 10：00～ 14：00～	
21	22	23	24	25	26	27
ポップコーン **・パパ** 10：00～ 11：15 東保育所		**園庭開放** 11：00～12：00 **はぐっとセミナー** **（食育講座）** 「夏の子どもの食事」15：00～			**園庭開放** 11：00～12：00 	
28	29	30	31			
ポップコーン **・パパ** 10：00～ 11：15 小柳保育所		**園庭開放** 11：00～12：00	**はぐっとセミナー** 「島さんの絵本講座」15：00～			

親子で楽しめる絵本の紹介（夏）

「こぐまちゃんのみずあそび」わかやま　けん作
こぐま社
最初はじょうろを使ってささやかに始まった水遊びですが、しろくまちゃんがホースを持ってきたところから、面白さはエスカレート？　赤ちゃんも楽しめます。

７月のクイズ　こたえ

１　実は明確ではないのが正解。一般に野菜はいろいろな部分を食べるのに対し果物は実だけを食べるのが特徴です。木になるものが果物。草として生えて実になるものが野菜と考えても間違いないそうです。
２　②丸のまま風通しの良い冷暗所に置いておくと２～３か月は保存ができ冬までもつという意味から「冬」の漢字が使われました。
３　③養豚場で豚に群がる蚊に困り、土管の中に線香を入れて使ったのがはじまり。隣にいた豚の鼻に似ていたので常滑焼の土産品として販売したところ爆発的に広まったということです。
４　③夏に出回る蚊です。ちなみに２位は人間。３位は蛇だそうです。
５　②エー玉。昔から使われているエー玉。生産の過程で傷が入ると中の炭酸が抜けてしまいます。傷がついてラムネに使用できないものをビー玉として売ったら広まったそうです。
６　③その昔、８代目商銀吉宗が疾病死者の慰霊と悪霊を供養するとしてお盆周辺に行われています。

はぐっとセミナー①
令和６年７月１１日（木）
午前１０時～
内容　作って遊ぼう
「カシャカシャマイク」
講師　孫田　純子先生
＊LINE 予約受付中。

はぐっとセミナー②
食育講座
令和６年７月２３日（火）
午後３時００分～
内容　「夏の子どもの食事」
給食のレシピもご紹介します。
講師　東保育所栄養士
＊LINE 予約受付中。

はぐっとセミナー③
令和６年７月３１日（水）
午後３時００分～
内容　親子のココロをつないで守る、絵本の備え
～AI 社会に進む今だからこそ知っておきたい読み聞かせのチカラ～
講師　島　桜さん
＊LINE 予約受付中。

ポップコーンパパ
第３日曜日　東保育所
住吉保育所
三本木保育所
第４日曜日
北山保育所
小柳保育所
本町保育所
10 時～11 時 15 分
０歳児～３歳児
内容　季節の工作や遊びを行います。
遊びにきてね。

７月の子育て講座のご案内
寝転がってウォーターマットにほほをくっつけたり、てのひらでたたいてみたりして、ぷよぷよした感触を楽しみませんか？　また、窓ガラスにスポンジの魚や貝を貼ったりはがしたりして遊びます。
お土産用のウォーター袋も用意しています。一緒に楽しみましょう。
日時　７月１８日（木）
１９日（金）
午前の部　１０時～
午後の部　２時～
場所「はぐ」ひがしひろば室
※予約受付中！

８月子育て講座日程
【わくわくタイム】
8/7（水）楽器あそび（制作）
午前の部　１０：００～
午後の部　２：００～
楽器を作って皆で演奏会をします。遊びにきてください。
【はぐっとセミナー】
8/29（木）おもちゃ講座
「世界のおもちゃで遊ぼう！」年齢に見合ったおもちゃの紹介をします。
午前の部のみ　10:00～
講師　隅内　智子さん

おたんじょうび おめでとう!!
お誕生月のお子さんに手作りの誕生日カードをさしあげています。身長体重測定も行っています。受付でお知らせください。

にこにこコラム『赤ちゃんの自然体験』
先日「はぐ」の中で「赤ちゃんの自然体験ってどうしたらよいの？」という質問がありました。大人は小さいころから自然に触れさせようと思って海や山などイベントを計画しますが、身近なところにも自然はたくさんあります。赤ちゃんは普段の散歩中に葉っぱが揺れている様子や、花びらが舞う様子などを、目で追って楽しんで見ていたりします。草花があったら、赤ちゃんの目の前に出してみると、興味があれば手を出し触れようとします。
もし、親自身が虫が苦手だったり、自然あそびの体験が少なかったりしても、これから一緒にお子さんと楽しんでみてはどうでしょう？　子育てはそれができるチャンスです。この時期、このときを逃さずに赤ちゃんと一緒に楽しんでみましょう。
庭のアリや、ダンゴムシをみつけて、ときには嬉しくてうっかりつぶしてしまうことがあるかもしれませんが、「虫は死んじゃうんだ。」と学ぶこともできます。それは悪意ではありません。なんでも「やってはダメ。」と言うより、積極的に関わる中で自ら学ぶのではないかと思います。小さいころにいろいろな生き物に出会って「すてきだ。」「大好きだ。」と思うことは、大人になったときに、「あの時は楽しかったな～」と思い出したり、自然環境を考えたりすることにつながっていくのではないかと思います。

遊びにおいで　「はぐフェスティバル」
毎年好評いただいている「はぐフェスティバル」のご案内です。地域子育て支援センター「はぐ」の職員が開催する歌あり劇ありの楽しいことが盛り沢山の講座です。
今年は「フチュール」で開催することが決まりました。ぜひ遊びにきてください。
日時　８月２１日（水）・２２日（木）AM・PM
男女共同参画センター「フチュール」　第１・２会議室（予約制）
【午前の部】１１時～１２時　　開場　１０時４５分～
【午後の部】　２時～　３時　　開場　　１時４５分～
開演５分前までにはお越しください。
対象　０歳～就学前のお子さんとその保護者
内容　体操、歌、クイズコーナー、劇「三びきのやぎのがらがらどん」
※各回全て同じ内容です。
※ご利用は、予約制（開催日の３０日前より予約可能）
【問合せ】地域子育て支援センター
「はぐ」さんぼんぎ
０４２－３６５－６２１２